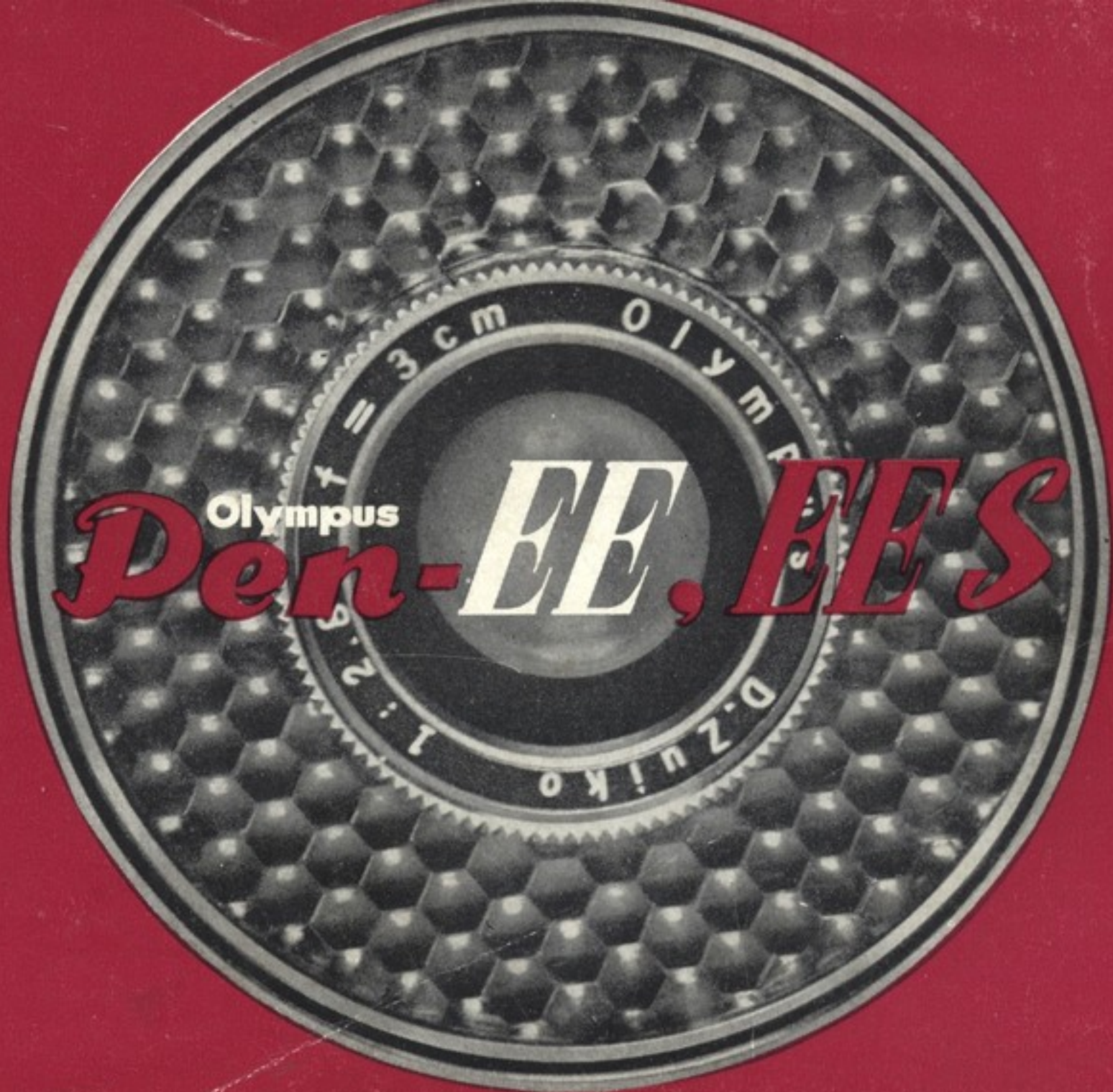


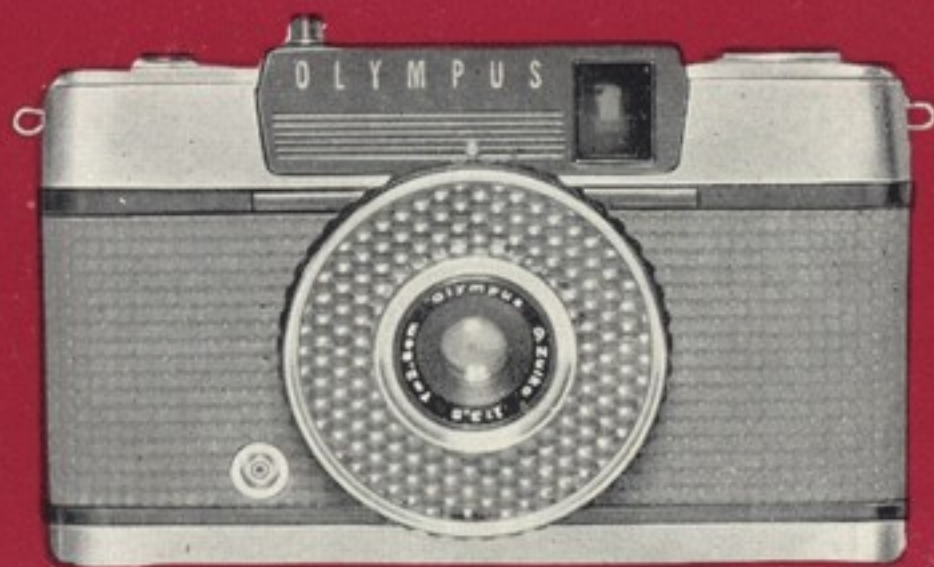
INSTRUCTIONS



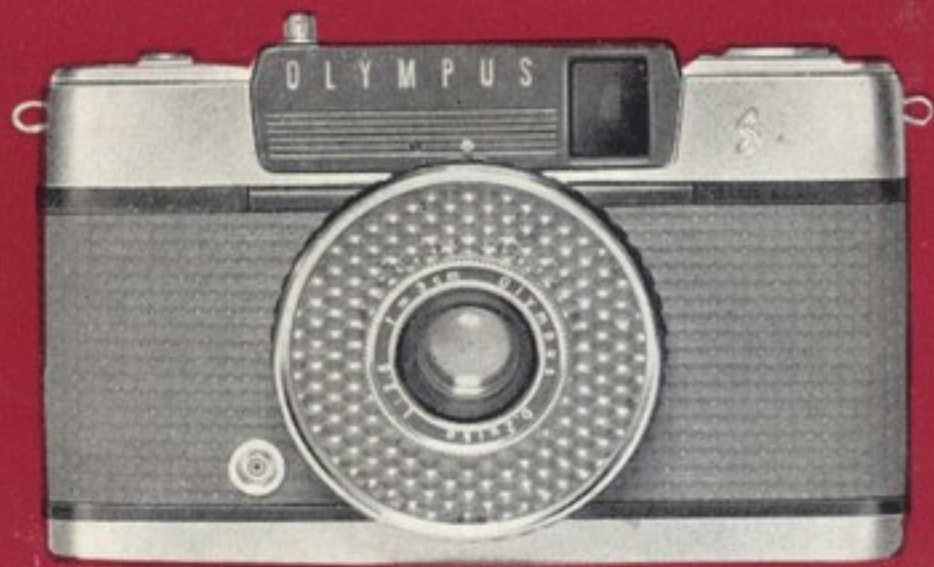
Olympus
Den-EE, EES

●若さと●センスのシンボル!

ペンEE・EES



オリンパスペンEE



オリンパスペンEES



主な性能

レンズ：ペンEE Dズイコー F3.5 f=28mm
ペンEES Dズイコー F2.8 f=30mm
シャッター： $1/30$ 秒、 $1/250$ 秒、X接点
ファインダー：ブライト フレーム ファインダー
フィルム捲上：リヤー・ワインディング・システム
セルフコッキング、自動捲止、二重露出防止
二重捲上防止
フィルム捲戻し：クランク式
撮影駒数計：残数式
焦点調節：ペンEE 固定焦点 (1.5m \sim ∞)
ペンEES 3点調節式
露出調節：露出計による自動調節 (EE)
自動調節に使用されるフィルム感度：ASA10 \sim ASA200
フラッシュ撮影用手動線り付 (ペンEE F3.5 \sim F22)
(ペンEES F2.8 \sim F22)
裏蓋開閉：裏蓋取外し式
大きさ：ペンEE 108(横) \times 66(高さ) \times 42(厚さ)
ペンEES 108(横) \times 66(高さ) \times 47(厚さ)
重量：ペンEE 350 gr ペンEES 400 gr

各部の名称





レンズ Dズイコー

Dズイコーは図のように三群4枚の構成で、オリンパス自慢のレンズです。

ペンのような小型カメラではレンズの解像力・描写力が極めて重要な要素になります。

ですから、カメラ全体のお値段にしては良過ぎるといわれるずば抜けたレンズが使われているわけです。

ペンEE



Dズイコー
F 3.5 f=28mm

ペンEES



Dズイコー
F2.8 f=30mm



ペン EE・ペン EES の特色

ペン EE 及びペン EES は、レンズのまわりにある露出計受光面に入ってくる光がカメラの露出計を働かせ、機械的に絞りの大きさを換え更にシャッタースピードも調節して、美しい写真がとれる EE カメラです。つまりシャッターとか、絞りとか、難しいことは一切考えずにカメラを構えてボタンを押すだけで写せるカメラということです。レンズにキャップをかぶせたり、手でおおったり、または、暗いところでは露出計が働かず、それに伴いシャッターが切れないようにつくられていますので、無駄写しもありません。

フィルムを入れる前にカメラの扱い方をよく覚えて下さい。



ASA ダイヤル

①写真をごらん下さい。

露出計受光面まわりをかこむ黒いダイヤルの外周に白い数字とダイダイ色の数字が並んでいます。

白い数字はフィルムの感度を表わす数字で、(200 が最高でその左側にASAと書いてあります)ダイダイ色の数字は絞りの大きさを表わす数字です。for Flash-Xと書いてあります。(24頁参照)

どちらもボディ上部の白い調節指標に合わせます。

フィルムには白黒フィルムとカラーフィルムがあり、またその中でも感度が速いものや、おそいものがあります。

白い数字はその種類を表わす記号と考えて下さい。例えばSSのフィルムを使う時は100というようにお使いのフィルムの指定する数字に合わせます。

フィルムの捲上げとシャッター

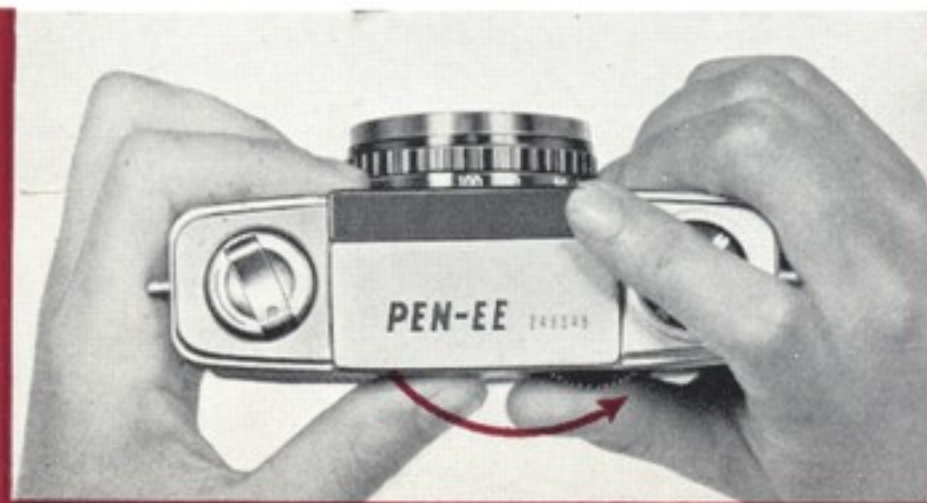
次にカメラのうしろ上部に黒いギヤーがあります。これはフィルム捲上ギヤーです。親指の腹で止るまで右にまわして下さい。そうすると、フィルムが1駒分捲上げられ、同時にシャッターがかかります。こうしてからカメラを写したい方向に向けてカメラの上部にあるシャッターボタンを押して下さい。

ボタンが押せて、カチャッという音がしたらそれで撮影ができたことになります。もし暗すぎたり明るすぎたりして露出計が働かない時は写真がとれないわけですから、そんな時は、シャッター

ボタンが押せないようになっていきます。

次に前頁に書いたダイダイ色の数字ですが、どれでもいいからこの数字を白い調節指標に合わせて下さい。そして捲上ギヤーを止る所まで捲いてからシャッターボタンを押して下さい。

シャッターは切れます。この数字を合わせたときは明るくても、暗くてもシャッターが切れるようになります。このダイダイ色の数字は、普通の撮影をする時は一切使いません。フラッシュ撮影をする時とフィルムを入れる時（17頁参照）に使います。



シャッタースピード

ペンEE・ペンEESには普通のカメラと違いシャッターを調節するところがありません。つまり、あなたが操作しなくても、カメラが調節してくれるということです。ペンEE・ペンEESは $\frac{1}{30}$ 秒と $\frac{1}{250}$ 秒の2つのシャッタースピードを持っています。


この2つのスピードが、室内とか薄暗いところでは $\frac{1}{30}$ 秒、明るい屋外では $\frac{1}{250}$ 秒というように、明るさによって、自動的に切りかわって働きます。又このシャッター、はダイダイ色の絞り数字に合わせた時は、 $\frac{1}{30}$ 秒のスピードで働きます。($\frac{1}{250}$ 秒にはなりません。)(24頁フラッシュ撮影の説明をお読み下さい)

明るさ	暗い ←————→ 明るい										
$\frac{1}{30}$ 秒	F2.8	F3.5	4	5.6	8						
$\frac{1}{250}$ 秒						4	5.6	8	11	16	22

$\frac{1}{30}$ 秒が働く範囲

$\frac{1}{250}$ 秒が働く範囲

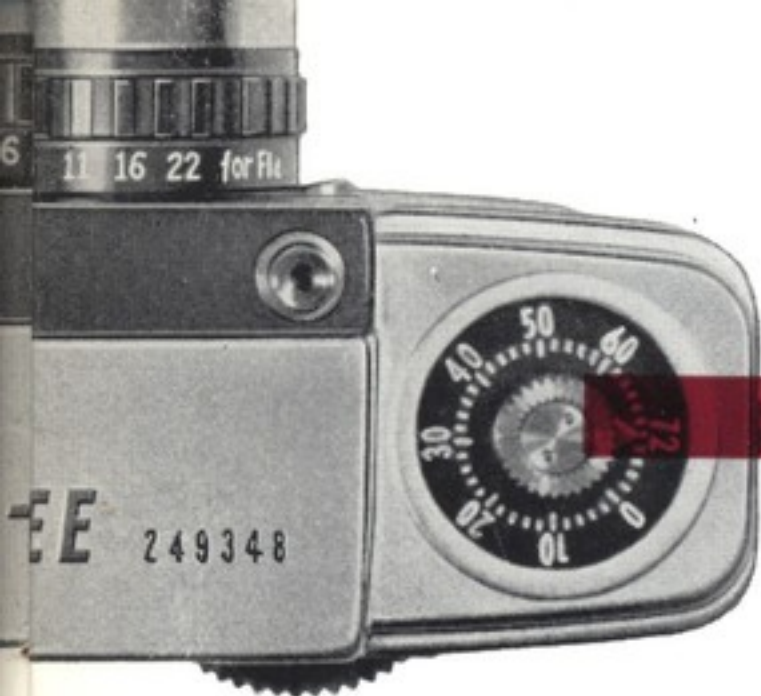
↓
ここで自動的にシャッタースピードが変わります。



フィルム捲戻しノブ



カメラの上部を見て下さい。
左側にあるのが捲戻しノブです。
左側のノブには、クランクがついています。爪先で上におこして下さい。底部にある捲戻しボタンを押えながらこのクランクを黒い矢印の方向に廻すとフィルムが捲戻せます。



右側の撮影駒数計には、0から72まで数字が書いてあります。




ペンEE・ペンEESに使うフィルムは、35ミリフィルム（36枚どりと20枚どりの2種類があります）をそのまま使います。写る画面は35ミリカメラの半分ですから、写せる枚数は36枚どりと2倍の72枚、20枚どりと40枚ということになります。

今36枚どりのフィルムを入れたとします。親指の腹で、中央のギザギザのところを抑えつけるようにして時計方向に廻して下さい。矢印が動きます。この矢印の先が72を指すようにします。

そうしてから、フィルムを捲上げ、シャッターを切ってゆきますと、枚数計が動いてこの矢印は残っているフィルムの枚数を教えてくれます。

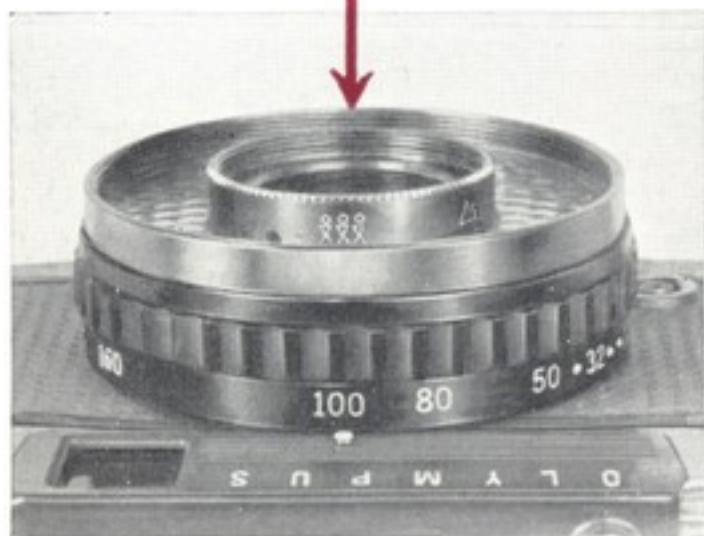



ペン EES は距離調節ができます


ペン EES のレンズ枠の外周を見て下さい。まわりに黒い , 赤い  のマーク, 黒い  のマークが刻まれています。


これは写したいところまでの距離を合わせる (ピント調節といいます) 距離調節環です。


カメラの上から見たところに, このマークがくるとカチリと止ります。





 は 1.2 メートル前後で, 人物撮影に使います。

 は 3 メートル前後でグループ記念撮影やスナップ撮影に使います。

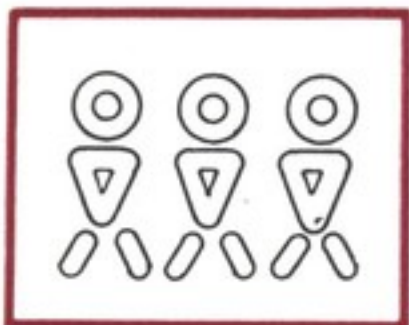
 一般の撮影では, 何時もこのマークに合わせておきますと失敗がありません。

 は広い風景写真などに使います。距離は 15 メートルです。

なおこの距離調節環は, このマーク以上に廻りますが  を通り越してとまったところが 90 センチ,  を通り越してとまったところが ∞ (無限遠) になります。

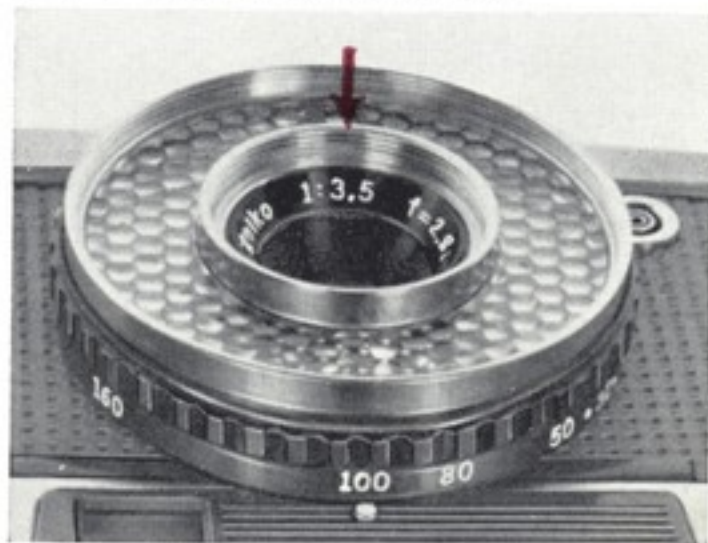


ペン EE は固定焦点になっていますから 距離調節がいりません



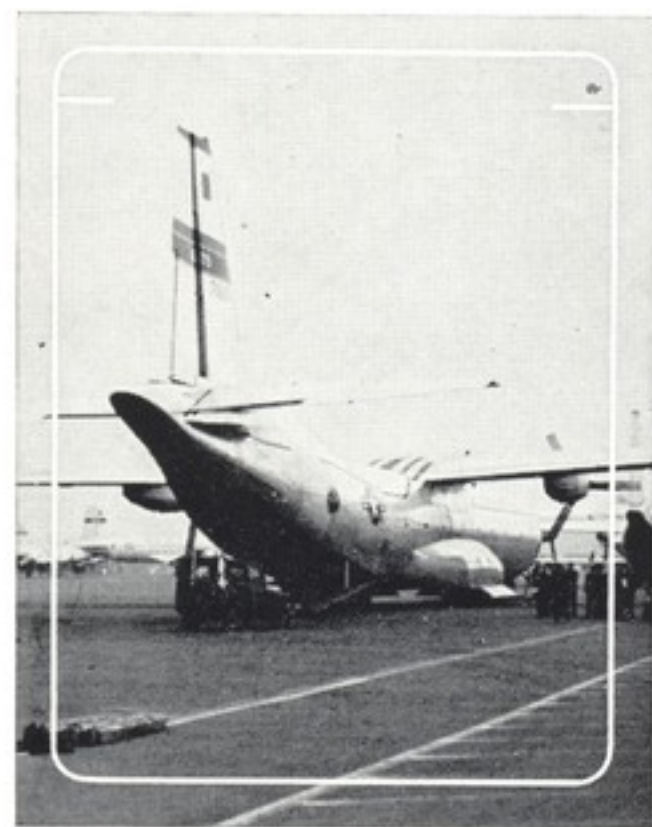
ペン EE は、いつでも 1.5 メートルから無限遠まで全部ピントが合うように設計されています。ですからピントの心配はまったくありません。（これを固定焦点といいます）

もし 1.5m より近い撮影をしたいという場合はこのカメラ専用のアタッチメントレンズを取付ければ 75cm から 1.5 m 迄の撮影もできるようになります（29頁付属品参照）





ファインダー




カメラを構えてファインダーを覗いてみましょう。
ファインダーの視野のまわりに白い枠が見えます。(光
枠といいます)

撮影する時は、写したいものがこの枠の中一杯に入るよ
うにして撮影して下さい。

また、ペンEESにはこの枠の上の方に左右から短い線
が出ています。

距離を ∞ やそれ以上近いところに合わせた時は、写した
いものがこの線の内側に一杯に入るようにして写します。



シャッターが切れない時には
ファインダーに赤い警告マークが出ます



ASAダイヤルを、入れたフィルムの感度に調節してファインダーを覗き、レンズにキャップをしてシャッターボタンを押してみてください。もちろんシャッターは切れません。

それと同時に、ファインダーの下側から赤いマークが出てきます。

つまり暗すぎて写らない場合には、シャッターボタンが押せないと同時にファインダーに赤マークが出て、警告を発します。この場合にはフラッシュを使って写します（24頁参照）

なお明るすぎる場合にも同じようにシャッターが切れず、赤いマークがでます。その時にはフィルターを使ってレンズや露出計に入る光を減らして写します。

裏蓋の開き方

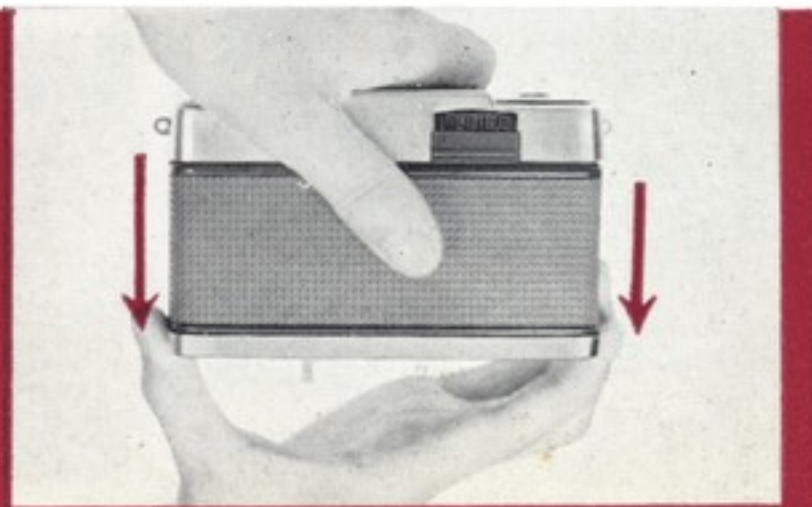
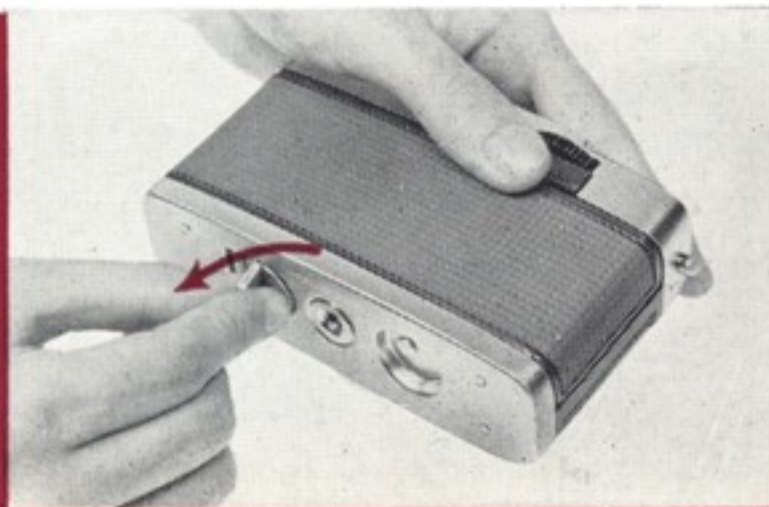
次に裏蓋を開けてみましょう。

写真のようにカメラを左手にレンズが下側になるようにして持ちカメラの底にある裏蓋開閉鍵を起し写真の矢印の方向に止るまで廻します。

次に左手の親指で裏蓋を押し下げると同時に右手で裏蓋の両わきを持ち、すっと引き下げますと楽にはづれます。

これでカメラの扱い方がお分りになったと思います。

フィルムを入れる前に、もう1度くりかえして操作してみてください。





ペン EE・ペン EES のフィルムと画面のサイズ



フィルムは35ミリフィルムを使います。
35ミリフィルムには、フィルムの長さに応じて36枚どりと20枚どりとがあります。

ペンカメラのフィルムサイズは24mm×18mmで
36枚どりのフィルムですと72枚
20枚どりのフィルムですと40枚

撮影できることとなりますから、特にカラーフィルムの場合には経済的です。

ペンサイズ

ライカサイズ



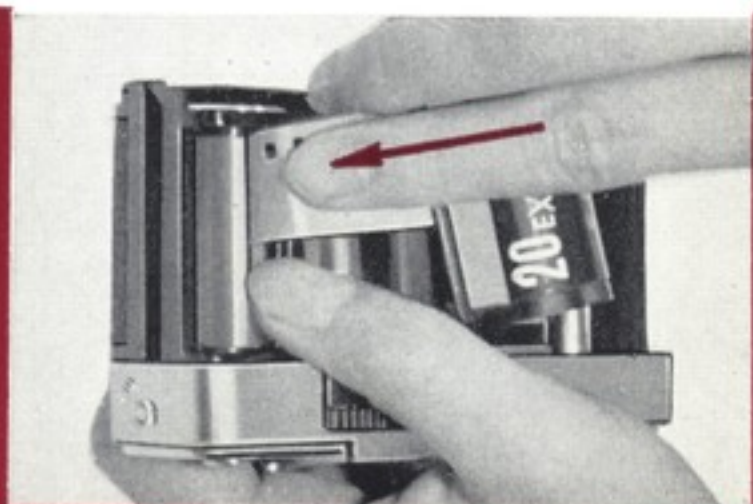
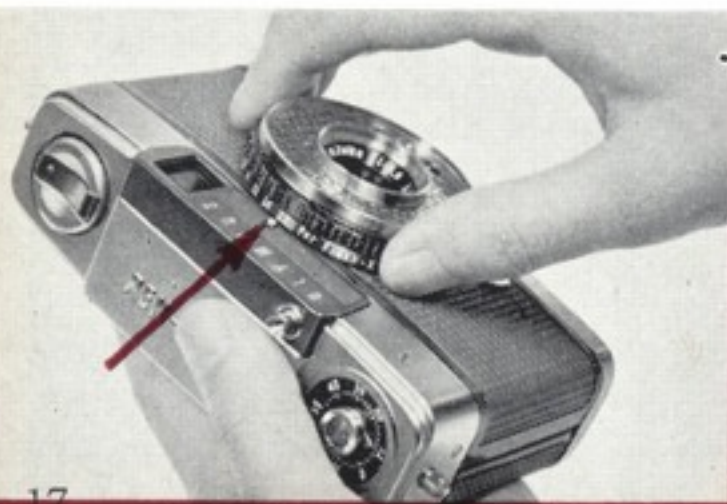


さあ フィルムを入れましょう

①ASAダイヤルを廻して、ダイダイ色の数字を（どれでも結構です）カメラの調節指標に合わせます。

②裏蓋を開きます（15頁参照）

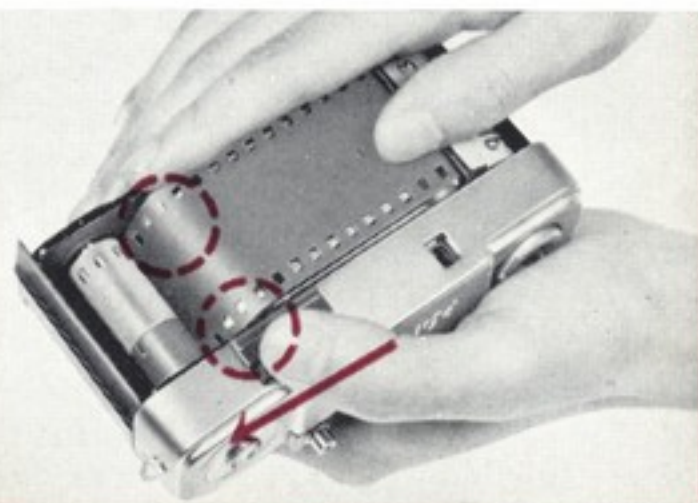
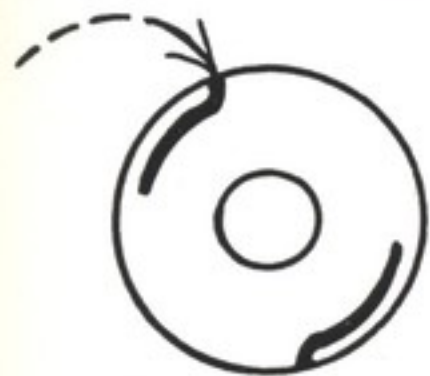
③写真のように左手にカメラを持ち、右手でフィルムを持って、フィルムの先端を捲取りスプールの溝に十分差し込みます。スプールは回転しますから、指先で廻して溝を差し込み易い位置に直しておくくと楽に差し込めます。



④フィルムは図のような方向に差し込んで下さい。フィルムの入ったパトローネをフィルム室に入れます。捲戻し軸がパトローネの軸穴の中にカッチリ入るようにします。

⑤右手の親指でパトローネを抑え、左手の親指で捲上ギヤを廻し、フィルムの右側の孔（パーフォレーション）が、スプロケットの歯にかかるようにします。

⑥次に“捲上ギヤを止るまで廻し、シャッターボタンを切る”を繰り返し、フィルムの両側の孔がスプロケットの歯にかかるまで捲きます。

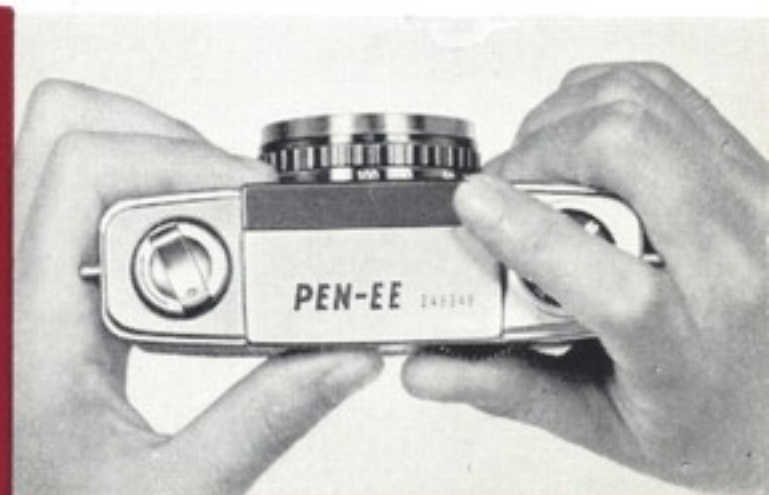
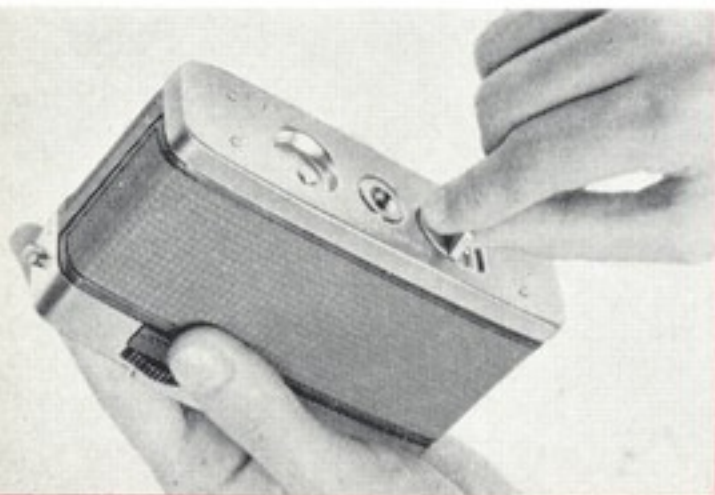




⑦この状態で裏蓋を閉じます。
写真のように裏蓋の先を溝え
差し込んでから閉じますと楽
に入ります。


⑧捲戻しノブのクランクを起し
矢印の方向に動かなくなるま
で軽く廻して、フィルムのタ
ルミをとります。

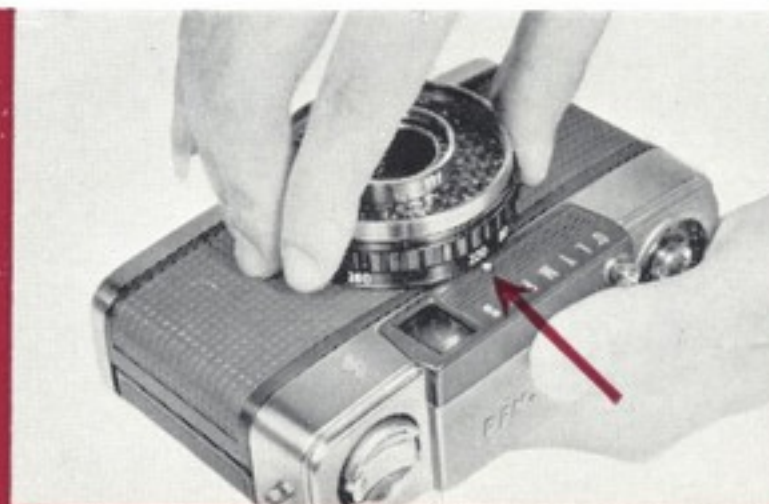
⑨次に捲上ギヤを廻し、シャ
ッターボタンを押します。こ
れを空写しといいますが、3
回くりかえして下さい。
この時捲戻しノブが、矢印と
反対の方向に廻っているかど
うか確かめて下さい。廻って
いれば、フィルムが正しく捲
上げられている証拠です。



⑩フィルム枚数計を、入れたフィルムの枚数の2倍の数字に合わせます(10頁参照)

⑪ASAダイヤルを廻して、入れたフィルムの感度と同じ数字(SSでしたらASA100)をカメラの調節指標に合わせます。

⑫次にEESだけはレンズ部分を廻して赤の  のマークがカメラの上部でカチリと止る位置に合わせます(11頁参照)



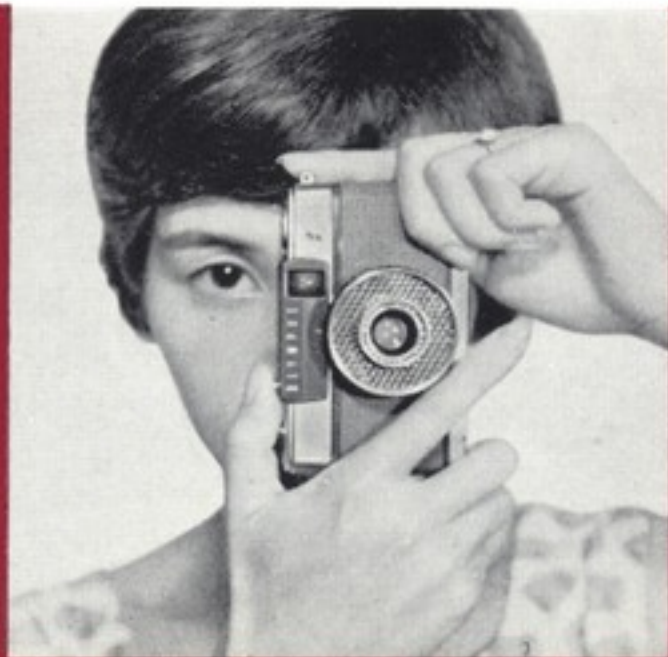


カメラの構え方

これで撮影準備ができました。

カメラはしっかり構え、レリーズボタンを静かに押して下さい。

カメラの構え方はタテ位置でも、横位置でも構図によって自由に変えて結構ですが、必ず両手で構えて下さい。





●レリーズボタンの押し方は、指を立てずに指の腹で静かに押し下げます。



●このように指を立てておすとカメラがぶれます。



●指やケースなどがレンズの前にかぶらぬよう注意して下さい。

(注 意)

①非常に明るいところや直射日光下でフィルムを入れることはやめて下さい。

②カメラに入れたフィルムのASA感度は良く覚えておいて下さい。

(27頁特殊なテクニックを使う時に必要です。)

撮影が終わったら

撮影が終わったらフィルムを捲戻します。

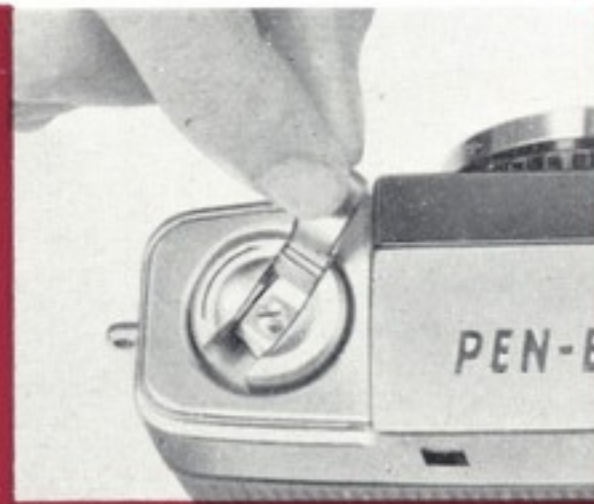
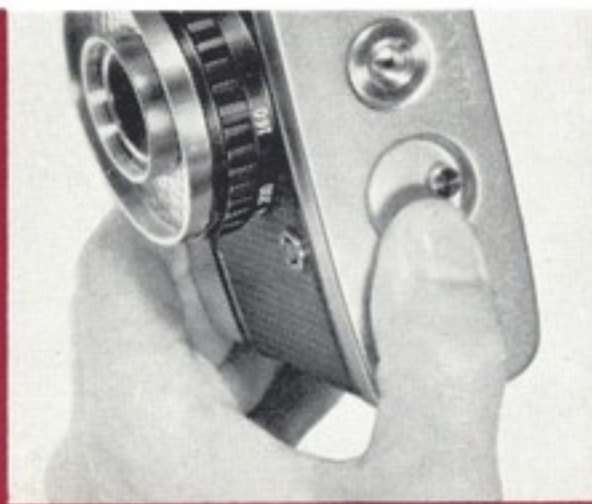
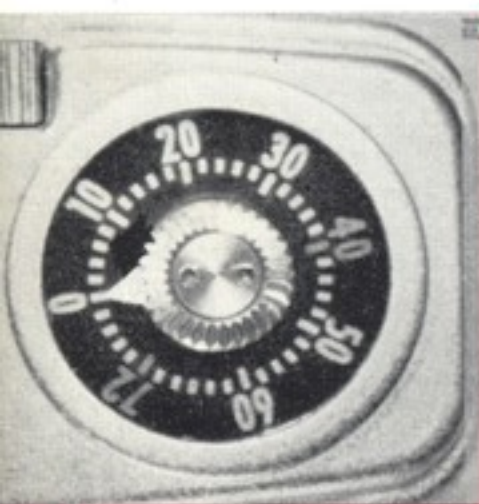
撮影が終わったかどうかは、フィルムの枚数計が0になった時か、捲上げギヤが動かなくなった時で分ります。

レンズキャップをかぶせて下さい。

カメラを左手で持ち、左手の親指でカメラの底の捲戻しボタンを押し込みながら、右手で捲戻しノブのクランクを起し、矢印の方向に廻します。

捲戻している間は、ノブが重く感じますが、フィルムの先が、スプールからはづれると急に軽くなります。

捲戻したら、出来るだけ暗いところで裏蓋を開け、フィルムをとり出します。





フラッシュの使い方

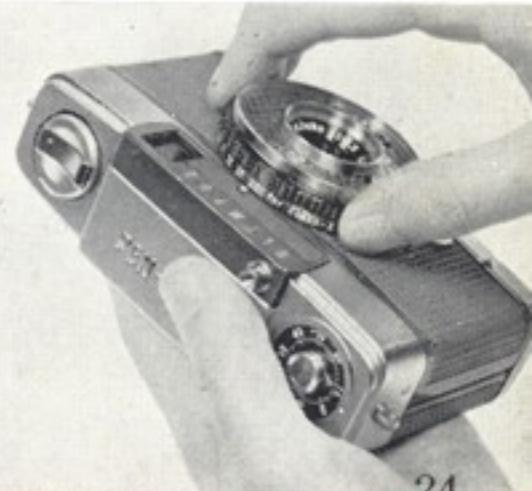
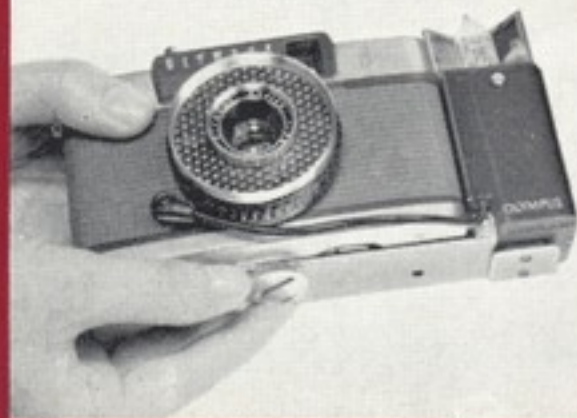
暗いところでの撮影には、フラッシュをお使い下さい。

フラッシュガンは写真のようなペン専用のものが別に発売されています。

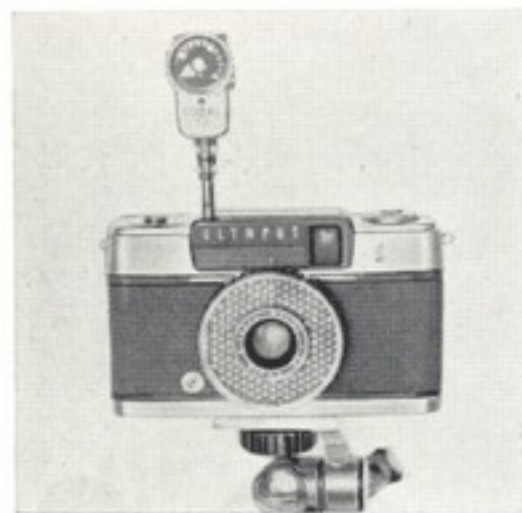
フラッシュガンの底板をたおし、写真のようにカメラ底部の三脚孔に底ビスをねじ込み、コードの先をカメラのシンクロプラグに差し込みます。

フラッシュバルブ
ペン専用のフラッシュガンには、東芝のMタイプUS-1, US-1B (カラー用)のベースレスバルブをお使い下さい。使い方はバルブの入った箱に必ず明示されています。

被写体までの距離に応じて絞りの数値が出たら、ASAダイヤルを廻して、その数字に近いダイダイ色の数字をカメラのボッチに合わせます。



セルフタイマー の使い方



セルフタイマーは、写真のような小型のものをお使い下さい（市販しています）

セルフタイマーの先を、シャッターボタンのねじ孔にねじ込みます。

フィルターを 使うとき

ペンEE・ペンEESには次のフィルターが用意されています。

色のついたフィルター（Y2黄色フィルター）をお使いになる時は直径43.5か45mmの大きい方をお求め下さい。これはレンズに入る光の量と、露出計受光面に入る光の量が同時に調節されますからASAダイヤルを調節する必要がない訳です。

22.5mmの小さいものも勿論使えますが、その場合はレンズに入る光の量が、EEを働かせる受光面に入る光の量の $\frac{1}{2}$ になりますので、EE撮影をする際はASAダイヤルを廻し、入れたフィルムのASA感度の $\frac{1}{2}$ の数字をボッチに合わせなければなりません。

例えばASA100のフィルムを使った場合はASAダイヤルを50に合わせます。

このフィルターをとり外したら、ASAダイヤルは最初の数値に合わせ直しておきます。



UV又は1Aなど透明に近いフィルターを使う場合は、**22.5**ミリのものでもASAダイヤルに調節の必要はありません。

Y2のフィルターはカラーフィルムには使わないで下さい。

ND4倍フィルターは明るすぎてシャッターが切れない時（例えば雪景色や明るい海岸等）に使います。これはレンズと露出計受光部に入る光を $\frac{1}{4}$ にします。

フィルターの種類と性質

UV	ねじ込み型 22.5mm	ねじ込み型 43.5mm	かぶせ型 45mm	有害な紫外線をカットして鮮明な画をつくります。またレンズの保護用として常時使用できます（白黒フィルム専用）
Y2	ねじ込み型 22.5mm	ねじ込み型 43.5mm	かぶせ型 45mm	青空を暗くし白い雲をくっきり浮き出させる等明暗の描写が強調され立体感が出ます。（白黒フィルム専用）
1A	ねじ込み型 22.5mm	ねじ込み型 43.5mm	—	カラーフィルム用でUVと同様有害な紫外線をカットし青味がかかった画調になるのを防ぎます。またレンズ保護用としても使えます。
ND 4×	—	—	かぶせ型 45mm	光の量を $\frac{1}{4}$ にします。カラー・白黒フィルム共に使用できます。

特殊な撮影テクニック

- ①逆光撮影（光源の方に向かってする撮影）とか
 - ②暗いところにカメラをおいて明るいところを撮影する場合は普通のカメラでは露出（シャッターと絞りの関係）をきめるのが非常に困難です。EEカメラでは、次のようにしますと簡単に、この撮影ができます。
- ①逆光撮影ではASAダイヤルの数値を、入れたフィルムのASAの数値の $\frac{1}{2}$ の数字にして合わせます。



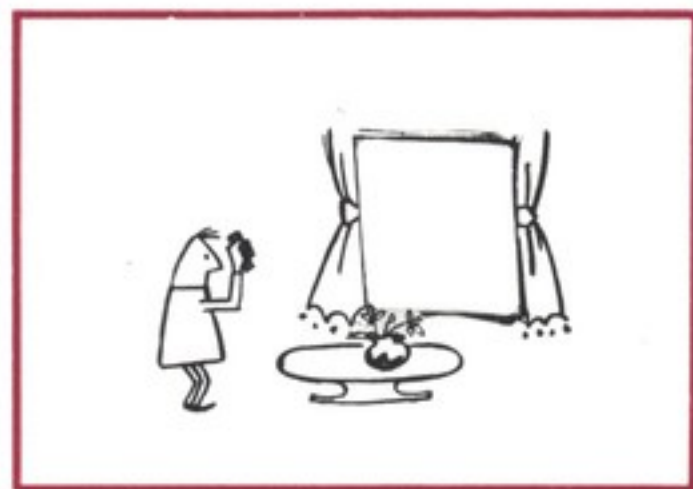
ASAダイヤル
そのまま
人物は黒く陰に
なる



ASAダイヤルを $\frac{1}{2}$ におとす
人物が綺麗に写る



②の場合、逆光撮影とは逆に1目盛多い数字を合わせます。



ダイヤルを1目盛多くするがよい
 ASA 200
 ヤル盛外景写る



ダイヤルをそのままのおもてが
 ASA 200
 ヤル盛外景写る





付 属 品

● フラッシュガンホルダー



専用以外の小型フラッシュガン取付用のホルダーです。

¥ 200.

● ペンフード



¥ 160.

● ペンEE用 アタッチメントレンズ (1m用)



¥ 750.

● ペンフィルター



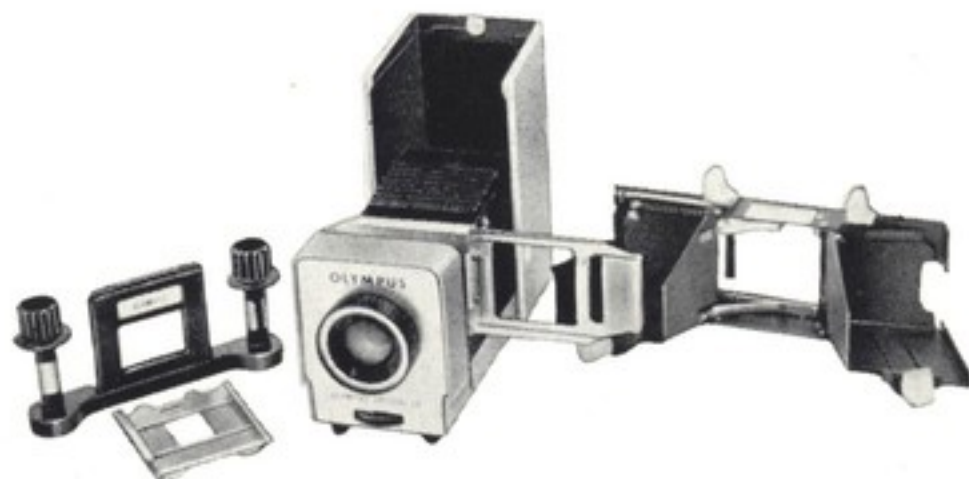
43.5mm・45mm

Y2, UV ¥ 700.

1A, ND4 ¥ 750.

22.5mm UV, Y2, 1A

¥ 300.

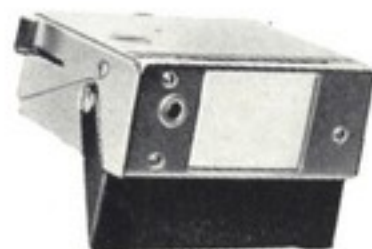


ペンスライド・プロジェクター 2型 ¥ 5,000.

オートチェンジャー 2型 ¥ 1,600.

ストリップフィルムキャリア ¥ 750.

● インスペクトビューアー



¥ 500.



ペン EE・ペン EES を通じて
お友達をふやしましょう……………

オリンパスカメラクラブに
お入り下さい!!

オリンパスには、オリンパスカメラをお持ちの方だけが入れるカメラクラブがあります。あなたの作品の批評・いろいろなお問合せなどにご利用いただけます。

またカラー表紙で内容がたっぷりつまった“オリンパスフォトグラフィ”を年6回会員に配っております。

ぜひご入会下さい。

オリンパス・サービス・ステーション所在地

東 京	東京都渋谷区幡ヶ谷 2 の 43	オリンパス光学工業 (株) 本社内	電話 (371) 5151
	東京都千代田区神田小川町 3 の 7	オリンパス光学工業 (株) 東京事務所	電話 (201) 9111
	東京都千代田区神田錦町 1 の 3	オリンパス商事株式会社東京営業所内	電話 (291) 1721
名 古 屋	名古屋市中区南伊勢町 1 の 8	オリンパス商事株式会社名古屋営業所内	電話 (24) 5962
大 阪	大阪市南区安堂寺橋通り 2 の 32	オリンパス商事株式会社大阪支店内	電話 (261) 6071
九 州	福岡市因幡町 23	オリンパス商事株式会社九州営業所内	電話 (76) 4466
北 海 道	札幌市北 3 条西 1 丁目 日本生命ビル	オリンパス商事株式会社札幌営業所内	電話 (5) 3325
広 島	広島市鉄砲屋町 5	オリンパス商事株式会社広島出張所内	電話 (2) 5782
仙 台	仙台市名掛町 91 駅前第 1 ビル	オリンパス商事株式会社仙台営業所内	電話 (22) 7716

貴方のカメラ No. を控えておきましょう

B No.

L No.



オリンパス光学工業株式会社